

みやざき農の物流革新事業

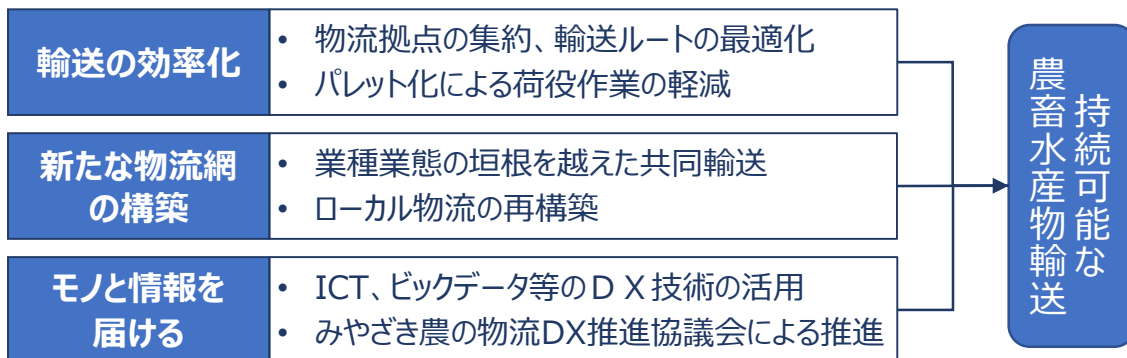
1 背景、ねらい

物流を巡る現状

- 長距離トラックドライバー不足、労働環境の改善（2024年から時間外労働の上限規制適用）
- “ファースト・ワン・マイル”問題（人手や労働力不足で出荷できなくなる問題）
- ポスト・コロナ社会への対応（農畜水産物の物流におけるデジタルシフトが必要）
- 令和2年度に農業団体、農業法人協会、トラック協会、フェリー事業者、県を構成員とする「みやざき農の物流DX推進協議会」を設立し、課題解決に向けた検討を本格化

※DX(デジタルトランスフォーメーション)デジタル技術を駆使し、経営のあり方、生活、働き方を変革すること。

目指す姿



2 取組内容

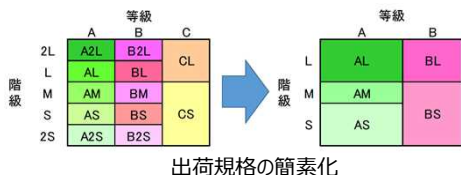
農の物流DX推進事業

主体 = みやざき農の物流DX推進協議会

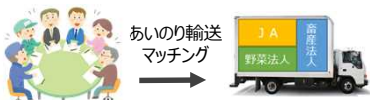
- 生産出荷予測システムと配車システムの連動及び拡充の支援



- パレット化に向けた規格の統合・簡素化に関する調査、検討



- ローカル及び幹線物流の改善に向けた実証、あいのり輸送マッチング会の開催

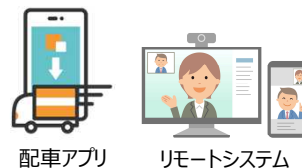


- DX技術の導入に関する調査、検討

農産物の物流革新に向けた条件整備支援事業

主体 = 農業団体、農業法人等

- デジタルシフトに必要な情報端末やアプリ等の導入支援



- 輸送の効率化や新たな日常に対応できる、ICT、IoT設備整備の支援（パレット、冷蔵施設、荷役装置等）

